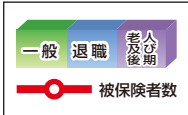


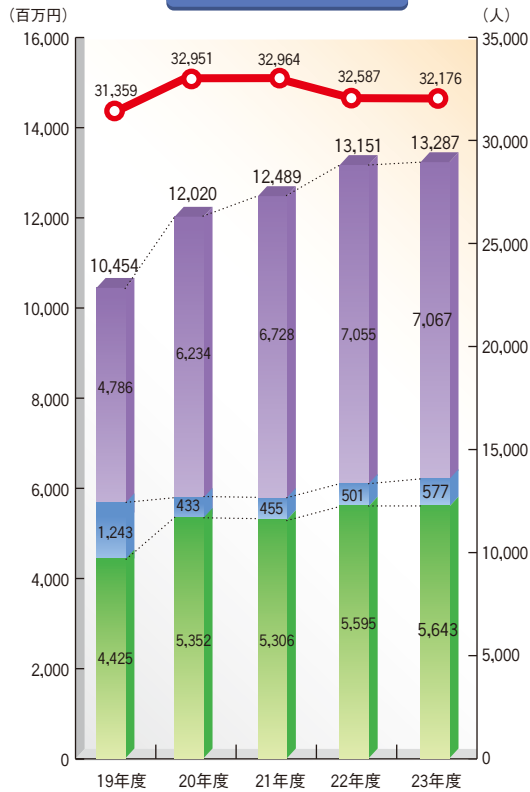


大田原市

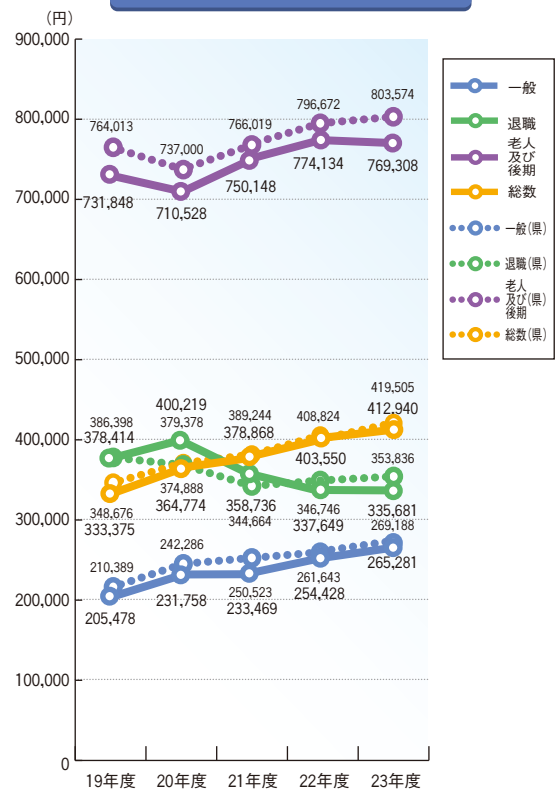
大田原市



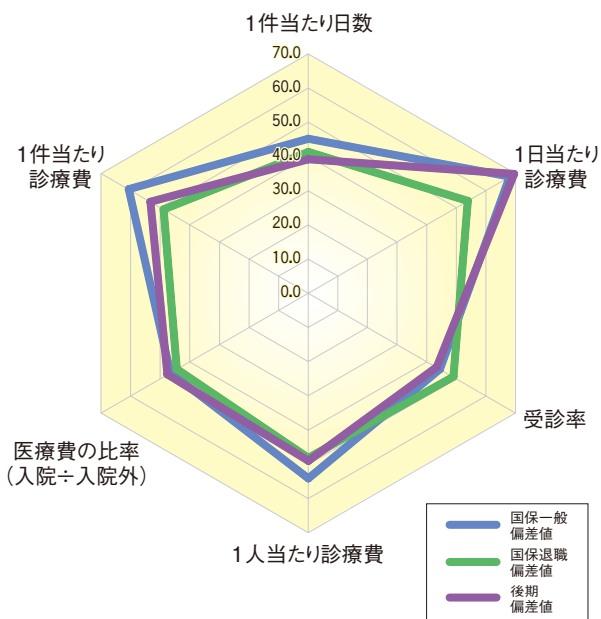
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

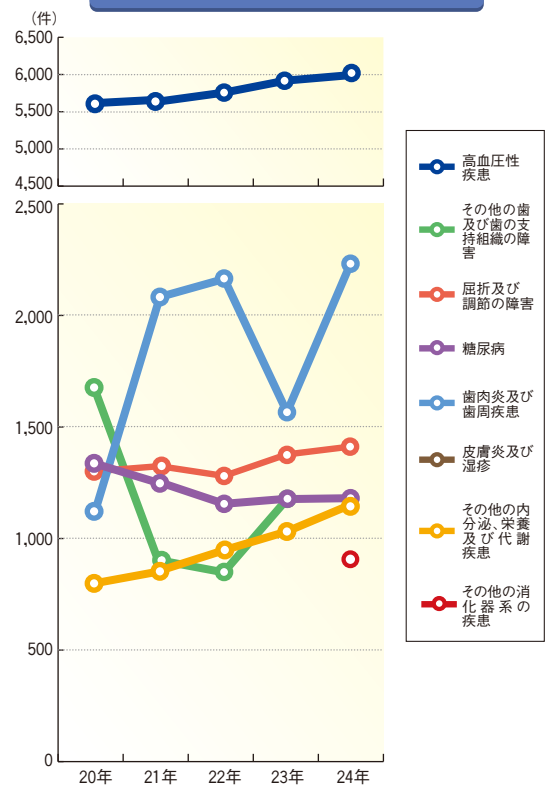


平成23年度
3要素と医療費諸費(県平均との比較)

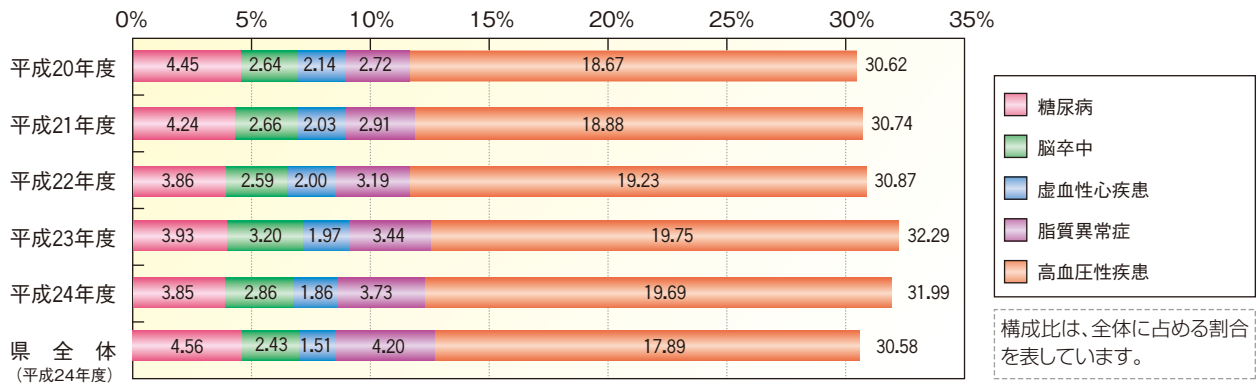


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

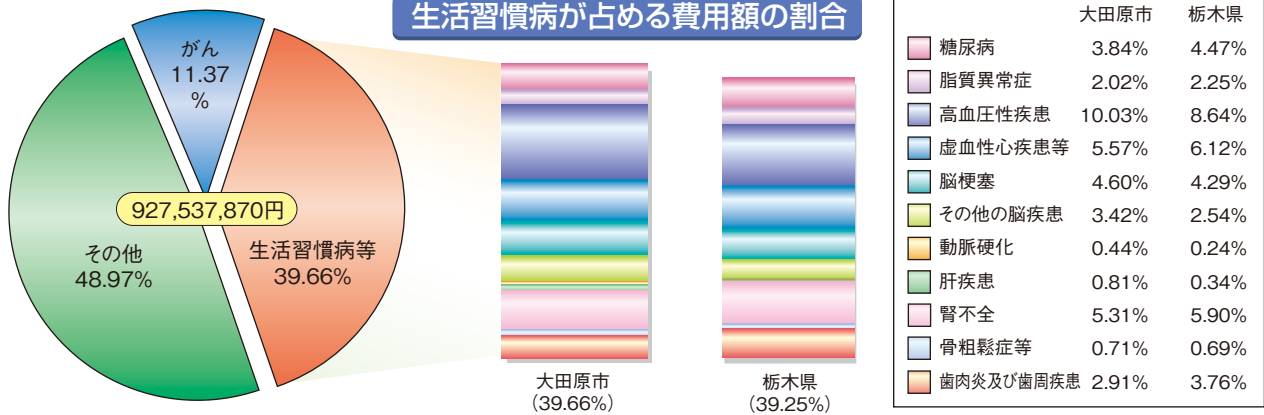
多受診疾病上位6位の推移



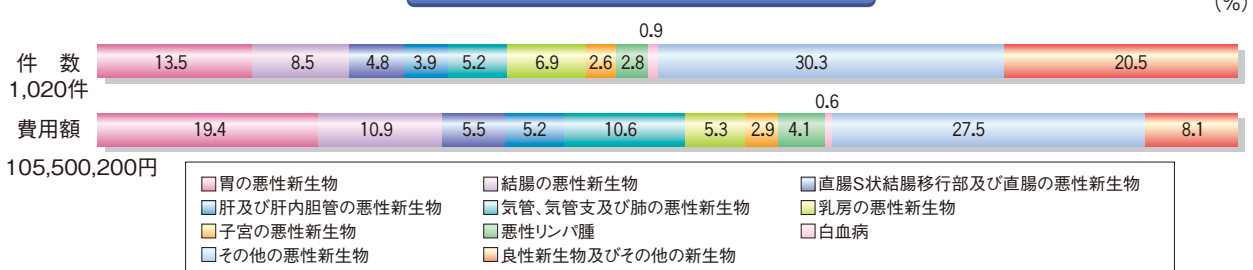
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



大田原市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成23年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般5,642,519千円(100.9%)、退職577,372千円(115.1%)、後期7,066,864千円(100.2%)で、全体では13,286,755千円(101.0%)と増加している。()は前年度との比較。

平成23年度平均被保険者数は32,176人で、内訳は一般21,270人、退職1,720人、後期9,186人である。前年度と比較すると全体で98.7%と減少している。

また、平成23年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は412,940円(9,383円増)、一般は265,281円(10,853円増)、退職は335,681円(1,968円減)、後期は769,308円(4,826円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1日当たり診療費と1件当たり診療費は、いずれの法別も高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成24年5月診療分において件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位糖尿病、5位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、6位その他の消化器系の疾患で、中でも5位のその他の内分泌、栄養及び代謝疾患は年々増加傾向にあり、平成20年と比べ件数は、1.4倍、費用額は1.1倍になっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症を除く4疾病は前年度と比べ減少している。

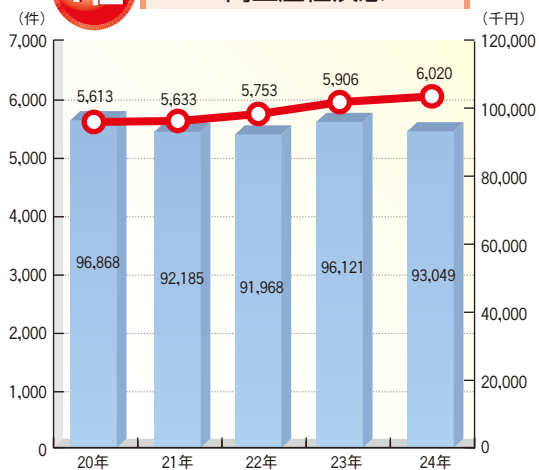
生活習慣病が占める費用額の割合では、平成24年5月診療分の総費用額が927,537,870円で、がんが11.37%、生活習慣病関連が39.66%を占めている(県全体 がん11.84%、生活習慣病関連39.25%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.03%、虚血性心疾患5.57%、腎不全5.31%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合では、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数・費用額共に、胃の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6 の年次推移

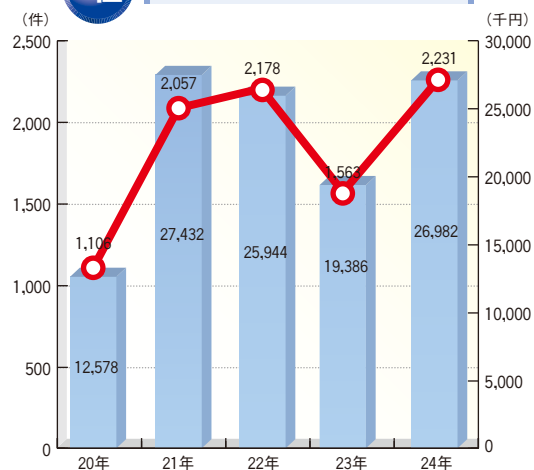
1位

高血圧性疾患



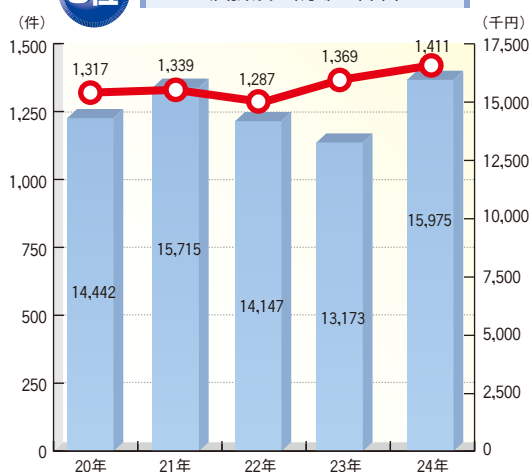
2位

歯肉炎及び歯周疾患



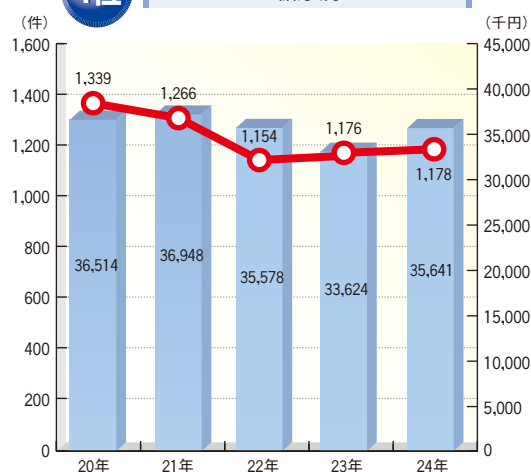
3位

屈折及び調節の障害



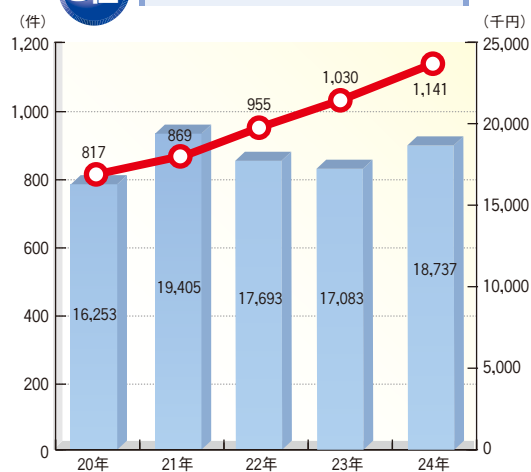
4位

糖尿病



5位

その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



6位

その他の消化器系の疾患

